京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十二年 紀元二千五百六十九年
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵税一ヶ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久神一郎
京城西署西小門通（電話七八六三）
發行所 京城新報社

寄書

滑稽な仁川市民

旭川

極端は極端と一致す、悲慘も其の度を逸すれば寧ろ滑稽となり、滑稽も又其の度を通り越せば悲慘となる、而して現に於て悲慘に近き滑稽事を擧ぐれば第一に指を仁川築港期成運動に屈せざる可らず。

現に仁川市民は築港竣成して大船巨舶埠頭を壓して至り、貨物山積の盛觀を呈するの曉を想望するのみにして、何んの設備によりて船舶を充すべき貨物を吸集し、何んの設備に依りて輸入貨物を内地に放散せんかに就いては一も考慮する所なきものゝ如し、陸上の設備にして今の如くんば仁川人士の云へる如く、本問題の成否が韓國貿易の死活に關聯せんとは予は信せず、只此の成否如何に依りて直ちに利害影響を異にするものは仁川港其の者に若くはなし、こは此の問題に關する京城龍山其の他地方人士の態度冷靜なるに徵して明なりとせずや、然るに漫りに天下の一大事と叫び、集會に次ぐに協議會を以てし、協議會に次ぐに集會を以てし、上京陳情に次ぐに集會を以てす、其の同一事の繰返し繰返されて遂に止まる所を知らざる、曦の午にして又晨すると一般にして、加かも此の間些の進捗したる蹟を認むるなし、撓みて倦まず勤めて怠らざるの志は稱するに値せんも、徒らに勤め、徒らに倦まざるものゝ如きは滑稽にあらずや。

然り而して其の委員が協議會の議を含み、陳情委員として曾禰統監に謁すること一再ならざるも、會へば其得意の都々逸、端唄に唄ひハイハイメサレ起つにも起たれず、居るにも居れず、堂々たる築港期成會陳情委員がチッコガシタイカラに托けて蒼惶引退りて生命辛々仁川に逃歸るが毎なり、此れ實に滑稽の度を通り過ぎたる悲慘事にあらずや。

辛くにして生命丈けを取り止め逃歸りたる彼等委員は又報告會なるものに引き出されて、統監御前の首尾如何を報告せしめらるゝに會するや、豈夫に統監自家用料の端唄に酔ふて戻つたとも云へず、バッを繕ふて前途有望なりとか何とか宜い加減な報告を爲す、市民は之れに釣られ、彼れは之れに縛られて、又生命がけの危險を踏まざる可らざるに立至るなり、滑稽も此所に至れば確かに戰慄すべき悲慘事にあらざるなからんや。

雜報

一進會の上奏文（二）

前號第二面に掲載せし韓皇に上る書の續稿左の如し

而に事此に出でずして日本を疑ひ其德を二三にせり日本 天皇陛下の寬仁大度なる我を擧討せずして克く我を弟撫し給へるも我は唯だ毎事自ら信を失ひしのみならず實に太祖高皇帝の聖訓を蔑棄して獨り其外交の詭變を恃み疾黎に據らざらんと欲すと雖も其れ得べけんや故に國母の變ありて山河情を含むことを致せり抑も亦た誰の故ぞや或は其國を國とせずして俄館に播遷あらせられ或は中立を宣言して外交の巧妙を誇ばせらる故に日俄和を約するに先ち我の服屬する所を定めり而して我の外交權を剝かれしは抑も亦た誰の故ぞや然るに廷臣未だ悟らず屢ば詭計を出して危機に萬一に徼倖し終に以て海牙事件の禪位委政を挑發するの己むを得ざるを致せり皆禮を失ひ信を喪ひ自ら招けるの寇に非ざるはなきなり孔子曰く困むべき所に非ずして困めば名必ず辱かしめらる據るべき所に非ずして據れば身必ず危し既に辱かしめられ且つ危ふければ死期將に至らんとす妻其れ見るを得べけんや嗚呼々々臣等今に至り斯死尸を擧じて安くにか適き歸らんや蓋し亦た其本に反らんか祖訓に反らんのみ誠に是の如くならは外尚ほ輿論沸騰せる日韓合邦して一大帝國を新造するの議は二千万同胞が始めて死處を知り新らたに其生を得るに庶幾からんか臣等請ふ其の由を陳說せん夫れ擁發は遠たり且らく尙論せざるのみ之れを兩國の史蹟に考ふるに其の人族の一家を分つべからざるや舊し、日本兵の唐兵と我白馬江に戰ひて敗績し百濟終に以て亡びしに及び韓日遂に各其の封疆を守りれ然れども使聘相通じ農商相徒れ過民高麗元兵を導きて日本を侵し私に兵船を艤して民怒りて征繼さしり我亦歲として支那沿海を侵掠せざるなし是に於て其の餘毒を蒙ふら然れども我をして始めて倭寇ありかしは壬辰の役後に斥倭の風を扇ぎ近代に至りては日本天皇陛下其の一系を以て開國の運に膺らせられ萬世の鴻業を丕ひにしたまふ其信其義山の如く斗の如し我の濟に沒せさりしは豈に天皇の德に非ずや我の俄に入らさりしは豈に天皇の仁に非ずや而るに我尙ほ未だ斥倭の氣を戢めず毎に恩に報ふるに怨を以てし徒らに排日を事とす翻然として之を思はゞ豈に禽獸の心ならずや幸に今我輿論の合邦に傾注せる民氣の漸く天に唯きせしことを覺れるを見るべきなり且つ夫れ往古漢唐の我を逐ひ其郡縣を置きしや山東の流民亡して我に入れるものは本土に關繫ありしに非ず督府を開き軍屯を置くに山海万里運轉賛られず前には遼征の怨を積み後には驍武の譏を受く故に武帝は汾河に歌ひ太宗は魏徵の碑に祭れり是時に當りて我半島は來降去叛の策を秘すれば以て自ら保全しつべきのみ今や然らず日本人の我土に歸するもの毎歲万を以て計へり皆其本土に關繫あり而して我民人と利害相通ずるの端日に繁し、加旃政治經濟運用皆其手に收めらるる此同居異治の勢を以て駸として六七年の後に至らば將に漸く新日本を我韓土に建てんとす我韓民何の力か善く之れに頑頑せん以て斃十年後に陵遲するに至らば彼は主にして我は奴たらん負ふものは韓にして騎するものは日ならん陛下獨り南面して大韓國太皇帝と稱したまふと雖も親ら政を出たさせらるゝことなけれは何の年か善く自ら陷るの韓奴を拔きて之れを日人對坐の地に置きたまはんや之れを例するに歐米人の人の國を亡ぼせるは歐米人の之れを亡ぼすに非ずして其國人の自ら亡びるなり而るに怨咨して我梁に逝くことを毋れ我笱を發くよ勿れと曰ふも公法は威なり幸にして我の日本と同族に出づ未だ根據の遍ふ所を生せず今相閲くの未だ甚しからざるに迨び廓然其疆域を撤して痛く兩鄰の樊籬を剗除し兩民をして自由に一政教下に遊びて均く同居同治の福利を享けしめは誰か辨せん此れは是れ我二千万同弟なることを剏や日本天皇陛下の至仁なる其我二千万同胞を化育して善く同等の民たらしめたまふや必せり然るときは生きんと欲して生きること能はざるものは是に於てか新に生を得て死せんと欲して死すること能はざるものは是に於て死か處を知らん祖本に反りて禮義誠信の俗を更始し保護劣等國民の名實を蟬脫して一起して新大帝國世界一等民族の列に上らば曇華始めて開き此れ臣等二千万同胞がひつべきなりと謂ふ敢て陛下を後にして已れの利澤を先にするに非ず又君を輕しとし民を重しとするの意に非ず夫れ大韓の大韓たることを能はざりしは其家珍を珍とせざりしに由る故を以て雲のごとくに浮き幻のごとくに現はれ虚說にして一實なかりしなり今自ら省みて其本に反らんには生に禮と信とを合せて之れを一方に專注するのみ剝や日本皇室なるものは割判以來一脈にして姓なく實に萬國の匹なき所なるをや惟れ我皇室幸に殊遇を蒙むり日本皇室と存亡を俱にしたまひなば五百年必絕の祀は却て錫を萬世に續きて日本と天壤無窮ならん此れ必至の当柔を以て無上の景福を轉得したまふものに非ずや故に臣等首念すらく固邦を結成するものは槿箕四千有載不磨の大典を擧げ羅麗三千里彊不易の盤基を起す所以のものなりと若し夫れ協約の浮文に媚りて日に自ら不測の淵に擠れることは臣等取らざるなり綱繆は須らく未だ雨ふらざるに迨ふべし逡巡は臍を噬む所以のみ唯た陛下二千萬の民命の爲めに請ふ速に大事を決したまはんことを其新國を一天に利くし闡臭を万邦に和くるの盛德大業に至りては陛下と大日本天皇陛下と其聖謨を一にしたまふの致すべき所ろ臣等何ぞ敢て鴻國に贊せん臣等二千萬民衆に代り敢て苦衷のみを陳す唯だ仰ぎ祝して云ふ宗社萬世不易に躋るの悲願はくは此に起きよと唯だ伏して祝して云ふ民人一等同列の福願くは此に止まれよと臣李容九等頓首魏足の赤誠に任ふるなし臣李容九等誠恐誠惶昧死々々叩頭泣血謹で上聞したてまつる

隆熙三年十二月四日
一進會長 李容九
同 一百万人

和歌募集

勅題「新年雪」

選者 九皐舘去留

何首にても隨意、用紙用箋類も又御隨意の事、締切期限十二月二十日、發表は四十三年一月元旦の本紙上を以てす、同好の士奮て投詠せられんことを希ふ

十一月廿日
本社編輯局

俳句

◎勅題五句 千春

回禮の黒紋付や雪の門
木々の年立ちけり六ッの花裝ひ
へだてなき雪の萬戸や御代の春
今朝の春雪の梢から立ちにけり
初空や靜かに明けて梢の雪



第四十八席

伯山改 神田松鯉口演

狩野介工藤茂光は、今茲嘉應二年の春京へ上りまして奏しまするに「爲朝久しく武勇を逞しうし、剩へ鬼が島へ渡り、鬼童を奴僕として、人民を驚かし候と」訴へました、上皇（後白河）是れを聞召て驚き玉ひ「急ぎ名たる勇士等を催し、爲朝を誅伐致すべし」と宣旨を下されましたので、茂光欣然として伊豆に馳下り、俄に宣旨の趣きを觸れ國人を催促し、四月下旬に至つて、用意全く整ひましたる故、大島を指して進發しました相從ふ面々は、伊藤祐親、北條時政、宇佐美平太、同平二、加藤太光員、加藤二景廉、澤六郎、新田四郎、天野藤内遠景等、其勢都合五百餘騎、帆を張り、浪を押切て、眞一文字に進みました、其時御曹司爲朝は、金襴の鎧直垂に、精好の大口を張らせ、紫下濃の鎧著て、銀の磨着したる腰當に、黄金作りの太刀を佩き、鷲の羽の征矢三十六指たるを筈高に負なし、滋籐の弓の握太なる眞中を取て腕挾み、八龍を金にて打たる、白星の五枚兜を鬼夜叉に持して、床几に係り、爲朝、嶋君を左右に侍し、彫江に酌を取して、最期の盃を運らす、冠者爲頼年尚ほ幼稚と雖も、勇將の萠現れて、少しも驚き給はず時刻漸くに押し移れば、鬼夜叉又進み出で申すやう「茲に至て後悔詮なきに似たれど、君智仁勇の三德を兼備し玉ひながら武運拙くして島守となり玉ふ上は、能を匿み光を包み、時を待ち玉ふべかりしに、恣に島々を管領して茂光に嫉れ玉ひしかば、終に倭人の舌頭に係りて年末の志を伸るに及ばず、空しく東海の果に終を取玉ふこと、最と朽をしきことである」と申しますれば、爲朝先當と打笑ひ「愚やな鬼夜叉、吾保元に敕勘を蒙りて配軍となりしかど、此十餘年は當島の主と成て、心ばかりは樂しみたり、其以前も九箇國を管領したり、筑紫にては菊池原田を初めとして、西國の者共は吾武勇の程は知りつらん、華洛にては源平の軍兵、殊に武藏相模の郎黨ども、吾弓勢は知りつらん、世間の武者共は甲冑と鎧、弓矢を帶たる許りにて、案山子にも劣りたる者共なり、爲朝に向つて弓を彎べうも覺へず、憎しと思ふ奴原を射の殺して悉く海に沈めん事は最と易すけれど、終に存命べくもあらぬ身の、無益の殺生して何かはせん、今日まで死なでありけるは、世も立なほりて父の意趣を遂げ、讃岐院を位に復し奉らばやと思へばなり、昔年說法を聞たりしに、欲知過去因見其現在果、欲知未來因、見其現在果と云へりされば罪を造る者は必ず地獄に落るなるべし、然れども弓矢取る身の慣ひとて、蝸牛の角の爭ひに活るを殺し死を厭はず、我總角の昔しより二十餘度の合戰に、人の命を斷つ事數を知れずと雖も、分の敵を討て非分の者を討ず、身の樂しみに田獵をして鹿を殺さず、又海獵して鱗を捕ず、神明を崇敬し、佛陀を念誦し、早く天下に名を知らるゝと雖も、過去の業因に羅かる煩惱をなし、今生の惡業に因つて來世の苦難思ひやらるゝぞかし、十年以來從ひつる者共は譜代相傳の家隷にもあらぬに、彼等を殺さんは不憫なり」とて各々遺物を與へ、叮嚀に說諭して落させ玉ひましたので、衆皆數行の涙にかきくれ遺憾げに出去ました、爲朝は今は心よしとて、飾立たる弓矢打物を海へ棄させ、ツと床几を離れて彫江を見反り、吾今磯方に出で敵の分際を見んと思ふに、爲頼は最後の用意をさせよ、島君は最と幼くして殊さら女子の事なり又彫江は忠重が女兒なれば敵も手酷く致すまじ、兎角に生活て長らへて亡き後をも弔ふが宜いぞ」と宣へば彫江は涙を流しまして「共に此磯の浪に屍を曝さんこそ願しく思ひまする」決心なか／＼に固くございます、亦鬼夜叉を近く招かれて「汝は吾歸り來るまでに舘の周に柴を積み、幼き者を刺殺して、爲朝が腹を切る時に速に火を放よ心得たるか」と言渡され、從卒に弓を持たして渚の方へ赴き玉ひました、



京城新報

愚なる合邦論
提灯に釣鐘の結婚　無意味の倒唳せ

舊時代に於て怪我の功名を贏ち得、其の甘き迷夢の未だ醒めざるの觀ある韓人の一派は、昨日迄方もなき日韓合邦を現實せしめんと唱し、合邦に關する長文の上奏文を韓皇に呈し、併せて統監及韓內閣に向つて建白する所ありたりと云ふ。余輩は此等韓人一派の企劃を重要視するものにあらず。又た彼等の心事に就て今深く論ずるを要せずと雖も、單り不幸にして邦人中此等韓人と相通じ、事に運動に携はり、恰も朴人の狂漢の群に投じて狂態を演ずるが如きの觀あるを認め、一言以て弊襲の勞を執らざるべからざるを認む。抑々日韓の關係たるや、伊藤公の兇變を俟つまでもなく、現時の曖昧なる保護關係は早晩廢止せられ、近き將來に於て他の新たなる關係の取て代はるべきは、事勢の免かれざる所に屬す。然れども其の新關係たるや、決して偉人一派の夢みるが如き合邦なるものゝ如からざるは、又た事の見易き道理ならずとせず。若し日韓合邦論にして實現することもあらんか、韓人に取て復た此の如き勿怪の幸あらんや。彼等が之を要ふは、彼等が曾て半島をして永久に列國共同保護の下にあらしめんと企てたる方寸と同じく、實際に於て自他を了解せず、唯自己に都合よき慾の打算の夢想なるに過ぎず。然れども余輩は彼等の無智に免じて彼等が此の如き迷夢を繼續するも此にあらず。唯、苟も多少の事理を解すべき筈の邦人等が等しく韓人と此の迷夢中に盲動するを看るに至つては、其の幼稚に驚かずんばあらず。之が爲めに余輩は言説を茲に試むる、實に已むを得ざるなり。今更斯く言ふ迄もなく、日韓合邦とは日韓の關係をして聯邦組織たらしむるものなり。世人は彼の歐洲の獨逸聯邦なるものを知るべし。獨逸聯邦はプロシヤ王國とバーデン、ヴアーテンブルグ等の王國及び公國と同列同位に聯合して一帝國を形造り、プロシヤ王は聯邦皇帝を兼任し、恰も米國に於ける大統領の如き資格を有す、一言にして之を掩へば、獨逸帝國なるものは攻守及び國際上同盟の便宜の爲に形成したる聯邦たるに外ならずして、全然日本人の意識する帝國なるものにはあらざるなり。且つプロシャ王國は云ふ迄もなく、他の王公國と同列同位にして、而も各聯邦國民は富の程度に於ても文明の程度に於ても、何等軒輊なく均等の資格を有して聯邦組織を成せるなり。翻て日韓の關係を見んに、プロシヤの他の王公國に於けるが如くならざるは、識者を待て後知らざるなく、此の事情の格段に相異せる日韓をして似て非なる聯邦組織の下に置かんとするは[illegible]なかるべし。余は韓人は如何なる意味に於ても合邦論を唱ふる[illegible]あらず、[illegible]之を要するに蚯蚓が一躍して大蛇となるを得ざらん限りは被保護國が宗主國に對して一聯邦となるべき理由はあらず、若し之あらんか世界のレコードは爲に破るゝなり。若し夫れ合邦官動者の心事と目的に至つては茲に多く云ふを要せず唯笑殺するに止むべきなり。

東京電報

有馬中將の逝去
海軍中將男爵有馬新一氏は赤痢病に罹り居たるに昨日終に死去したり（六日）

滿鐵の政府配當
滿鐵會社政府持株に對し三百萬の配當を爲すに決せりと傳ふる者あるも眼前に露國鐵道の競爭を控へ其他各般の事情は幾多積極的經營を要する場合故右は實情を知悉せざる虛說也（同）

帝國々債の現狀
去月末國債現在高は二十七億七百八十一萬千五百八十五圓にして內債還額一億二千二百四十五万百五圓未償還額は二十五億八千五百三十六万千四百八十圓なり（同上）

鹿兒島線の一頓挫
鹿兒島直通鐵道は六千尺の延長を有する矢嶽隧道に於て機關手火夫屢々人事不省に陷り煤煙亦盛んにして旅客の苦悶甚しく且つ一朝連鎖斷絕の事あらば忽ち進行の危險あるを發見し目下其善後策に就き研究中なり（同上）

豫算內示の期日
豫算內示會は桂首相の歸京を待ち來月十五日頃なるべし而して議會提出は一月二十日頃なりと當局は語れり（同）

猪御獵仰付らる
米田主獵頭以下各主獵官に天城御獵場に於て猪御獵を仰付けらる同時に東鄕、乃木兩大將にも御陪獵を仰付けらる

商法政正案協議
政友會代議士は商法改正案に就き審議を重ねつゝあり（同上）

歐州電報

議會解散と總選擧
英國議會は一月八日公式に解散せられ十三日より總選擧を行はるゝ筈（六日）

奉天電報

安奉沿線の大雪
安奉沿線大雪の爲め汽車頻復不通となれり（六日着）

北京電報

陳總督排斥運動
直隷省民は盛んに新任總督陳燕龍氏の排斥運動に着手せり（六日着）

輝久王殿下御入京
練習艦隊阿蘇に御乘船召され去る四日仁川へ御入港遊されたる海軍少尉候補生北白川宮輝久王殿下は昨六日朝九時八分南大門驛着伊知地少將御隨行申上げ御入京あらせられ直ちに統監邸へ入らせられたり同驛には外波大佐佐竹秘書官外陸軍將校數十名出迎か〻殿下には軍服嚴めしく最と御壯健に拜せられたり而して同晚統監邸御一泊今七日御歸艦遊さるゝ御都合なりと

宮殿下の御巡覽
別項所載の通り北白川宮輝久王殿下には六日午前統監邸御着同十時より御步行にて統監府日英博覽會出品物御一覽直ちに憲兵隊に御成りあり同隊の將校及同相當官一同に拜謁仰付られ補助員の練習及び韓馬の乘馬演習を御一覽の上十二時統監邸へ御歸着遊され御晝餐を召させられ午後一時統監邸を御出門宣仁門より昌德宮內博物館、動物園、秘園を御一覽の上金光門よりパゴダ公園へ御廻りあり慶熙宮御巡覽の後圜丘壇及び南大門等御巡覽遊され統監邸へ御歸着相成り當夜は統監邸へ御一泊の由

第二回農產技術官會議
第二回韓國農產技術官會議は六日午後十時より商業會議所樓上に於て開會せられたるが各地より技師、技手の列席したる者下記二十三名にして外に農工銀行、地方金融組合より參列したる者十九名農商工部よりは次官代理菊池商工局長中村農務局長外十餘名出席午前十時中村農務局長は開會の趣旨として重要產物米、麥、大豆、牛に關して改良すべき點土地の利用及び蠶糸業、果樹栽培の自用的生產と其以外の風土に適する利用猶は改良すべき點を詳述し其他農商工部所管以外の農事關係官公吏と雖も農事改良に關しては一定の步調を取り獎勵方法の一途に出んことを希望し終りて諮問事項の本會議に移りたり會議出席者は左の如し

向坂技師（水原）草野技師（同）長岡技手（同）東野技手（同）久留米技師（同）岩田技師（龍山）佐藤技師　木浦齊藤技師（光州）三浦技師（群山）鈴木技手（全州）町田技師（晋州）戶木技師（大邱）小賀野技手（同）牧野技手（咸昌）大町技手（海州）櫻井指定技師（新義）黑沼指定技師、春川　花井技手　平壤）住吉技手（同）成瀨技手（義州）定野技手（咸興）千葉技手（鏡城）甲技手（穩城）にして外に各地農工銀行、地方金融組合よりは左の通り出席したるも參考の爲めにして決議の數に加はらずと云ふ

全州農工銀行技手諫山三太郎、漢湖農工銀行技手林唯亮、平安農工銀行技手前田秋英、慶尚農工銀行技手春日德二、同生田隆太、黃州地方金融組合技手奧村鐵三郎、咸興同春木七郎、慶州同橋源三、開城同直江道昌、全州同信太幡男、水原同三村忠、濟州同關宗一郎、北濟同鹿屋兼二、光州同池內誠祐、順天同寺山佐次郎、公州同石川潔、平壤同押切祐作、義州同林一兎、昌原同苦米地辨太郎

反對側の演說會
一進會の突飛的決議に對し李總相が元老及日本觀光團國是遊說團の人々を使嗾し反對行動を執らしめ一昨日午后一時より圓覺舍に於て大演說會を催さしめたり會場の周圍には數十の憲兵巡查擧銃を禮掛けに提げ萬一を警戒し日韓國旗を交叉せる會場の入口は無數の韓人犇々と詰め寄せ無慮千餘名と註され辨士席には臨監警官凛たる前に中樞院長金允植承寧府總管趙民熙前度相任善準前學相李載崐及成岐運金鶴鎭等の名士ズラリと居並び辨士の得意思ふべきのみならず聽衆の注意を惹きたる觀ありき演題は韓日親善の關係、閔一進會國民の心得、叱咤邪魔、過去を反省し將來を警戒すの各題にして無事演了し午後五時散會したりと

合邦決議と人心
一進會の日韓政合邦決議は李內閣及國是遊說團日本觀光團の各系統を激せしめ遂に別項の如く反對演說會を開催せしめたるが一般民人の意向を窺ふに中には統監の態度如何と杞憂するものあるが如きも多くの韓人は彼れ一進會は疾く日本化し韓國民として既に死滅せる輩なれば如何なる行動に出づるも齒牙に掛くるに足らずとて孰れも樂觀し居れるが如し

降雪と電信電話
四日夕頃より降雪の爲め同十一時頃には市內電話線障碍の箇所八十餘に達し五日朝は百五拾餘の不通を生じたるより京城局にては直ちに修理に着手し同日夕刻迄に全部開通したり電信線の如きも地氣斷線混雜等の爲めほとんど全部不通となりたるも五日午後十一時迄に元山江界線（江界長津間にて不通）を除く諸線は全部開通せり

海軍武官の謁見
曾禰統監は六日石井武官佐竹阿分の兩秘書官を隨へ午前十時三十分練習艦隊司令官伊地知少將以下左の諸員を帶同韓皇に謁見し十一時半退出したり

司令官伊知地少將、參謀阪本中佐、同下村大尉、阿蘇艦長佐藤大佐、軍醫長根來軍醫中監、機關長松澤機關中佐、分隊長山口少佐、水雷長兼分隊長河合少佐、航海長神田少佐、主計長大曲主計少監、宗谷艦長鈴木大佐、機關長富安機關中佐、主計長飯田主計少監、航海長富岡少佐

連絡船線の變更
關釜連絡船薩摩丸は汽罐掃除の爲め來二十七日迄休航し役航便は對馬丸壹岐丸二隻にて循環運航することゝなり對馬丸は一昨五日壹岐丸は昨六日釜山着發航便は會下山丸にて六日朝下關を發せしを以て七日朝釜山發の船順なり

李首相邸の密議
李首相は五日午前十一時曾禰統監邸退出後各部大臣を自邸に召集し深更迄密議する所ありたり其內容は極めて秘密に附したるも確聞するに依れば一進會より韓皇への上書の處置に就き議したる由にて結局該上書を執奏せざる事に內定したりと

電車複線の決定
日韓電氣瓦斯株式會社は南大門驛前より古市町を經て俗稱十五間道路を通過する電車複線布設の出願を爲したりしが陸軍にても願意を必要と認め近々許可あるべしと

韓國銀行の總會
韓國銀行は其第一回株主定期總會を來る四十三年一月下旬東京に於て開催するとの事なり

●練習艦隊將校入城　目下仁川港碇泊中の練習艦隊阿蘇、宗谷二艦の乘組將校海軍々醫中監根來祐春、海軍少佐山口傳一、同神田佐吉、同河合退藏、海軍主計少監大曲道藏、海軍機關大尉小西省三、同少尉池田千足、海軍大主計村上春一、海軍大尉館井卓爾、海軍少尉候補生澤本賴雄の諸將校は一昨五日入京巴城館、浦尾、山本の各旅館へ何れも分宿したりと

●女子の雇員に就て　內地にて尤も多く女子雇員を採用せる電話交換手を除き爲替貯金管理局、遞信省電報調查、及び電信技術員等にも成績頗る良好なるより當地管理局にても之れか採用を希望し[illegible]婚期其他の關係にて當地には應募者少なきと男女隔離の建築等を要する爲め當分は採用の運びに立至らざるべしと云へり

●國庫編入と地方費　來年度地方費の費途に就ては內部に於ても頗る周密なる調查研究をなしつゝあるが警察に關する費用は度支部と交渉の結果國庫に編入することゝなれり又土木勸業等の施設、關し國庫と地方費と重複すること多ければ協定の上費目の出所を[illegible]にする筈なりと云ふ

●新道路開通と扶役　昨六日澤田地方局長の臨場したる水原濱汀洲の新道路は韓國獨特の美風なる扶役にて工事を營みたるものなるが人夫約五千六百人にて三里九丁の距離を僅々一週間に開通せり而して費目を要したるは橋梁架設其他己むを得ざるものゝみにて千二三百圓の小額なりと

●築港委員會の決議　仁川築港期成會請願委員會を一昨五日午後七時より民役所樓上に於て開會したるが出席者は二十三名にして種々重要問題に就き凝議せし結果築港請願に要する總ての費用は居留民有志者中より支出すると共に更らに大々的運動の步を進むることに決議したりと云へり

●京城居留民會召集　古城菅堂氏民長に新任せられたるを以て今七日午後六時より民會を召集し民長給料決定及會計役撰任の件を付議する由尚ほ同時に協議會を開き女學校移轉及び小學校增設の件並に代理民長交際手當支給の件を協議する由なりと

●韓人奇特者に賞與　龍山署管內居住正三品高允獸氏は本年虎列拉病流行に際し進て私屋を防疫事務所に提供し或は私財を投じて消毒藥を購入し之れを洞民に分與する等陰に陽に防疫の實行を幫助せし廉を以て此程其筋より金二十圓を賞與されたり

●曾禰統監の晚餐會　曾禰統監は昨六日午後七時より御入京中なりし北白川宮輝久王殿下を主賓に御招待申上げ伊地知少將兩艦長御附武官及び石塚長官外波武官佐竹秘書官を招待して晚餐會を催したる由なり

●モリソン氏の退社　倫敦タイムス北京通信員ドクトルモリソン氏は今回辭職し其後任として常に英國資本家を代表し清國鐵道借款に盡力しつゝありしブランド氏再びタイムス社に入り專ら清國通信の任に當ると

●理事官邸の午餐會　信夫仁川理事官は今七日午後一時より官邸に目下碇泊中なる練習艦隊司令官伊地知少將及び阿蘇艦長佐藤大佐宗谷艦長鈴木大佐其他幕僚十三名を招待して午餐會を催ふす筈なりと云ふ

●千秋運輸部長巡視　陸軍運輸部本部長千秋大佐及び同釜山支部長千葉少佐の一行は北韓視察を終へて四日來仁出張所に丸尾中尉を訪ひて視察する處あり六日歸任の途に就く

●練習候補生の上陸　仁川に假泊中の練習艦隊乘組少尉候補生百八十名は一昨五日上陸して市中を巡覽したるが昨六日は午前八時五分仁川驛發列車にて入京し即日歸艦せり

●李首相等統監訪問　一進會より上奏書の執奏方を接受したる李完用氏は趙農相を伴ひて一昨五日午前十一時統監邸を訪問し曾禰統監と面談一時間餘に渉りて退邸したりと

●民團會計役の候補　京城民團にては會計役專任を置く事となり候補者として古城民長より海浦篤彌氏を推薦し七日の民會に承認を乞ふ筈

●軍司令部員の昇任　龍山軍司令部經理課長最上三等主計正は二等主計正に同軍醫部附宇野三等軍醫正は二等軍醫正に何れも昇任せり

●佐藤大佐一行歸朝　旅順表忠碑除幕式に參列し歸途當地に立寄りたる佐藤砲兵大佐一行は一昨五日午前九時半南大門發列車にて歸朝す

●陸軍倉庫長の交迭　在龍山陸軍倉庫長土屋二等主計正陸軍經理學校附を命ぜられ八木二等主計正陸軍被服廠より轉じて其後を襲げり

●大韓協會の演說會　大韓協會の發起にて來る十二日午後一時より一進會聲明反對國民大演說會を開催する由にて目下準備中なりと

●憲兵の上陸と赴任　全羅南道にて警備の任にありたる憲兵及補助員百二十名は五日隅田川丸にて仁川に上陸一泊の上平安南北道に赴任

●免許漁業の審查會　昨日午後一時より農商工部に於て免許漁業に關する審查會を開きたりと

●仁川新聞社設置說　朝鮮新聞に對抗して仁川に一新聞社を設置すべく一二有志者は計畫中なりと

●度支部大臣の歸京　渡日中の高度支部大臣は一昨五日午後八時十分南大門驛着列車にて歸京せり

●臨津江驛廢止決定　京義線臨津江驛は愈來る二十日限り之れを撤廢せらるゝことに決定したり

●木內農商工部次官　北韓巡視中の木內農商工部次官は七日朝釜山着同夜南大門着列車にて歸任す

株屋手先の入城
韓人の一派を使嗾して日韓合邦論を唱へしめ平地に波瀾を起して空株賣買の材料を作り奇利を博するの計畫を爲す者ある由は過日來數次傳へられたるところなるが現に株屋の手先とも見るべき疑はしき輩目下三名程某々旅館に潜伏し東京大阪に向つて盛んに暗號電を爲し居る由なり

●賴涌近治氏入京　橫濱ジャパン、プレス記者の氏は五日入京天眞樓投宿

●林文太郎氏入京　平壤鑛業所技師の氏は五日入京天眞樓へ投宿したりと

●海津囑托の歸任　新義州へ出張中の鐵道囑託海津一雄氏は五日歸任せり

●今村警視の歸任　群山警察署落成式に臨みたる今村警視は五日歸任せり

●岡崎遠光氏東上　日韓瓦斯電氣會社專務取締役の同氏は七日發東上の筈

●澤田半之助氏來　澤田半之助氏は目下來城小松外務部長邸に滯在中なり

●諫山技師の入京　全州農工銀行技師諫山三太郎氏は一昨日入京佐藤旅館へ投宿

●古莊記者の來京　平壤新聞記者古莊仁太郎氏は五日入京佐藤旅館へ投宿

●成瀨利貞氏入京　義州種苗場技師の氏は五日入京不知火へ投宿した

●春日德三氏入京　大邱慶尚農工銀行員の氏は五日入京不知火へ投宿せ

●林唯亮氏の入京　太田農工銀行林唯亮氏は一昨日入京佐藤旅館へ投宿

●山本策平氏入城　橫濱貿易新聞記者の同氏は五日入城天眞樓へ投宿せ

●町田場長の來京　晋州種苗場長町田永五郎氏は一昨五日入京山本旅館

●花井技師の入京　平壤勸業模範場長花井藤一郎氏一昨日入京浦尾旅館

▲治外法權▼
日韓合邦なんど▲愚にも付かぬことを言立て世間を騷がして相も變らず韓式政權爭奪の目的を遂せんとする蝙蝠黨の氣が知れぬ者は彼等一派を蝙蝠黨と稱す、何ぞ知れば彼等は純粹の韓人にもあらず勿論日本人にもあらざればなり▲合邦唱道者の後ろには株屋さんが附いて居る如何に株式場の材料に窮したからとて韓人を使嗾し合邦騷ぎまでをさせて金を作ろーとするとははて呆れたものだ▲のみならず韓人の尻馬に乘て合邦騷ぎをやり居る連中等はやれ內さんが尻押しだとかやれ桂首相が一だとか勝手に不謹愼な言を弄して人に油をかけつゝある、現に記者のへも尻馬黨の片破れとも見るべき一者が戶惑ひして來り切りに寺內陸相を振廻して行つた、警察とか憲兵とかナゼ彼等亡者を取締らぬか▲頭本元貞君が英語に堪能なることは有名なものだツの頭本君が過日米國はワシントンの理髮所へ入り顏ソリを命じたところが理髮職人には元貞君の英語が通じなかつたものと見ゑ、だまつて居る中に大事のヒゲをソリ落して仕舞つた、頭本君驚いたが言葉が通じないから抗議も申込めず泣寢入りに止んだ▲此頃ニューヨークで死んだ鐵道王ハリマンは務官へ届け濟の公開遺產高丈でも三億萬圓を子孫に讓つたソーだ、此外公開せぬ遺產がドレ程あるか判らぬ嗚呼

●「朝鮮」十二月號　旭邦子の「生と死」は從來の大文字として大なる敎訓を吾人に與ふるものあり主張の「伊藤公の民族問題」は氏が會心の文字なるべく[illegible]て行文流暢悉く吾人をして首肯せしめざるも又憶かに論壇の珍とすべし「京城の他研究欄に富源欄に網羅せる所は皆韓國に於て[illegible]井）水產と山林の關係（庵原）等あり其のに於て言々涙にあらざれば句々悉く血通讀に堪わず訪問錄、文藝、問答、[illegible]考資料たらざるはなく雜纂欄の亡妻錢[illegible]らず△每月一回發行一部金二十五錢△

●海州署落成式盛況　既報の如く海州署落成式は去る五日擧行せられたるが來賓日韓人二百餘名觀察使檢事[illegible]

●虎列拉豫防員招待　龍山坊居住韓人與台煥、任肯淳の二氏は本年龍山に於ける虎列拉流行の際防疫に盡力したる人々を來る八日李址鎔氏[illegible]

●各地技手入京　咸興地方金融組合技手春木七郎、全州同信太幡男、慶州[illegible]三村忠の諸氏は一昨五日入京したりと

別項記載の如く鴨綠江渡江船は休航となるを以て鐵道[illegible]當分の內旅客荷物の連絡輸送を中止[illegible]

[illegible]を吾人に與ふるものあり主張の[illegible]公の横死と朝鮮問題（伊藤[illegible]の策を立つべし」の二論、議論頗る健[illegible]にし[illegible]民心の疏通は刻下の急務[illegible]



八千代の弗函（四）

▲横山クンはいの一番 ▲戦爭の運動遂に如何

富田屋の名妓八千代のそれには比すべくも非らざれど、兎に角あやかりにもせよ名妓の名を眞似たる彼れ淺岡の八千代が容色は枯れ果てたる仁川花柳界にては

一頭地を抜き居る處へ胡沙吹く滿州の果てまでも斷つて廻はりし凄腕は却々以て凡妓ならず、されば

色魔界大王 秋田の黒さんを捕虜となしたるは未だしも、石部金吉と言はれしのみか、人並優れた新妻を持ち其上

高等の教育を受けたる鬼クンを物の美事に丸め込み遂に一高等官の椅子を遠く釜山まで轉任せしめたと云ふさへゾッとするに茲にまた身の上の一大事こそ起りけり、そは曾ても記せしことある前きの

仁川民團助役 横山クンの事にて同人は八千代が淺岡に店出するやいの一番に斷り込みしものにて朝な夕な

色眼鏡越しに向ふ同志で秋波を送り互に嬉しき交情となりしが、其后

多情なる八千代は秋田、鬼の兩人を捉ね而して彼れが三人から

月々貢ぎ上げる

手當は尠からざる額に上りしとか、さてもさる程に横山は一千五百圓と云ふ大金を貰つて民團を辭せしが、何時まで此儘遊び居る譯には行かずとて、日頃懇意にせし秋田が

曾禰子爵の御邸へ不斷出入するを幸ひ例の甘つたるき口調もて

獵官運動を頼み込みたる處元來た調子の黒先生二つ返事で頭を縦に振りたれば仕濟ましたりと横山は爾來繁々秋田の門に出入し、八千代にも此事を告げ

内心大に**安堵**の體なりしが昨今鬼クンの轉任と共に八千代に關する評判頗る高く、遂に横山も其

弗函の一人なる事端なくも黒先生の耳に入り以ての外に立腹し、俺れの愛妓を横取りして獵官運動とは圖々しい爾來一切構ひ不申とて以前の親切はドコへやら、流石の横山クンも之れには殆ど閉口せし

[illegible]も元より覺へのある事なれば如何共する能はず飛んでも無い**色敵**に遇ひ最早此手に乙は詮術なしと近々引揚ぐるとか、さるに乙も好事魔多しの例へに漏れず八千代は

大節季を控へ可愛い鬼さんは釜山へ飛び、今又横山クンには[illegible]せられ、黒さんとて餘りに八千代の多情なるに少々愛憎を盡かし以前程に熱心ならず、コリャ一思案[illegible]と少さき胸を痛め居れりとか、是れしも[illegible]の笑子拍子に聞かしな[illegible]唱は確かな處（終り）

嫉妬の刃物三昧

▲二の舞が見物ならん

茲に書き出す未練男某は生[illegible]の鯱で名に高い名古屋と[illegible]だい（二八）といふ淫奔者は彼[illegible]夫某と色修業の競爭を行ら[illegible]遂に摺つた揉んだの末が内[illegible]麗に切つて女は渡韓して當[illegible]み **櫻井町**八十番戸に[illegible]なし聊か手に覺えたる**女髪結**[illegible]して居る内名古屋で情交濃[illegible]夫がつい此程八重の潮路を[illegible]遙々尋ね來り誰憚らず意茶[illegible]笑しく暮す内先夫も渡韓し[illegible]十一日に胡沙吹く朔北の韓[illegible]に行きゐたるも思はしから[illegible]そゞろに以前の女房だいが[illegible]ちすつい四五日前京城に[illegible]櫻井町の温突を訪ねたる[illegible]噂のありし男が長火鉢の前[illegible]みてれ約束の褞袍を着て[illegible]取つて嫋然と嫌やに脂下[illegible]るにぞ男は憤怒逆る潮な[illegible]つたる**短刀**を振翳し[illegible]其處動くなと古い型を演[illegible]内に夜叉の如くなつて飛[illegible]人は面喰つて周章狼狽し[illegible]したるを男は女を目掛け[illegible]掛け同町料理店**海山樓**[illegible]込みたるを追跡したるに[illegible]氣倶臥中なりしを近所の[illegible]寛つて狂ひ廻る男を漸つ[illegible]が何れ遠からず音羽屋も[illegible]切つての一騷動はそんな[illegible]せらる可しとの評判は高し

私は死ぬる積りです

▲意氣地の無い若者

私は死ぬつもりですと[illegible]諭をしてもらひし出來の[illegible]此奴は山口縣玖珂郡岩國[illegible]

[illegible]にて去九月京城憲[illegible]れしも何か不都合[illegible]され去頃龍山川端[illegible]に奉公することゝ[illegible]の舜はコキ使はれる[illegible]前同家を逃出して[illegible]食はする好き家も[illegible]抱へてウロツキ廻は[illegible]朝龍山錬兵場附近に[illegible]公食へませぬから饑[illegible]の奇抜な御届を為[illegible]外なれば龍山署に[illegible]も貰つてやれりと

●孝行韓人の拐帶

京畿果川郡[illegible]城南山町一丁目光昇[illegible]）は西小門外の菜日[illegible]番戸不明乙己商行事[illegible]困じ以前使役せられ[illegible]る此程解雇せられ[illegible]去る四日夜頼り行き[illegible]を平素同人の正直[illegible]幼弟を扶養して非常[illegible]じて五圓紙幣を兩替[illegible]んものとて使を命[illegible]昨日前記韓人の處に[illegible]發見して此官南部署に[illegible]ちに金を本署に拘引し[illegible]しに金子は悉皆老母へ[illegible]且つ同人の親孝行なる[illegible]來月雇主よりの給金よ[illegible]將來を訓戒して歸宅

●滑稽小便騷動

南部司畜洞四[illegible]五（三）は一昨日午後八[illegible]丁目番戸不詳飲食店直[illegible]先に放尿したるを倉太[illegible]りたるに朴は放尿した[illegible]子は南瓜のと餘計な屁[illegible]を倉太がグッと癪に障[illegible]事が解けて落ちたので[illegible]て強たか頭部を殴打せ[illegible]せるを追跡して同町麗[illegible]袈裟に派出所に訴出で[illegible]飛んで現場に駈付けて[illegible]記の次第と判明し兩人[illegible]ぞは滑稽

●飛んだ散財

若草町一丁目[illegible]府生れ平民大工職森宗[illegible]縣生れ平民同職畑中金[illegible]一昨五日午後七時頃本[illegible]店長谷川消一方に闖揚[illegible]者を命じ約三圓餘の飲食[illegible]居が德利一本を竊かに[illegible]鉢や德利を手當り次第投[illegible]ねざるを訴へに依り警[illegible]亂暴をその初め三味線[illegible]飲食代と外に損害金三圓[illegible]めて說諭放免したりと

●梅毒男の保護願

滋賀縣伊賀郡明石部町平民市兵衛長男西山督次郎（二三）は去る十月十六日以來當地南大門通三丁目藤村新藏方に雇はれ居たるが同人は豫て梅毒病に罹り昨今起居にも不便なるを雇主の義侠に依り同町富久尾病院に入院せしめて治療せしめ既に四十六圓九十六錢の治療費を支拂ひ遣りたるも當分全癒の見込なく亦郷里の實父も貧困にして引取方甚だ困難なれば行路病者として保護方を一昨五日雇主より京城民團役所に願出でたりと

●醉漢車を破壞す

日の出町百三十二番戸居留山口縣生れ平民中村豐次郎（二三）は朋友の谷口市太郎なる者と去る四日夜何處かで鱈腹飲酒して翌五日午前三時過ぎ本町六丁目韓人駐車場に至り新町遊廓に案内せよとて大聲を發して騷擾を極め車夫の相手にせざるを怒りて有合ふ人力車一輛を勝手に引出し破壞せしを車夫の訴へに依り永樂町派出所巡査出張して取押ね結局二圓の損害を辨償せしめて事濟み

●好い事を爲た後

一昨五日平壤警察署より同地の旅人宿北濟館の雇女岩間フジ（二八）といふが逃亡したるが多分午後十時九分着の列車にて龍山に下車する筈ゆへ取押へ方を頼む旨龍山署へ電話ありしと好い事をした后が惡くなりて逃げたものらし

●花柳だより

花月の花形小高は頃日來婦病に罹り目下入院治療中に聞くが、曩きには浪華亭の丸子頓死の病に悩み今又小高の難病、若い妓に色々な病いの起るのは抱主にも大に責任があると思ふ▲藝妓は藝を賣るものであるる事は勿論だが愛嬌と美貌は時に藝以上に功を奏する事がある、無暗に姉子氣取り片膝立ての長煙管は最早一世紀前の事だ▲近來頓みに人氣の揚りしは井門の雛子である、可愛らしい顏も爲て居るが第一若い妓で知惠のある事は中券第一とは穴勝ち過賞でもあるまい▲中券の蝶八、花駒の兩妓は元來蝶々抱への藝妓なりしが近々中券を去り東券に現はる由、乙は蝶々が旭町に移轉せし爲め地理上の便利からなるべし▲一昨日曜日新町遊廓の嫖客は百一人此の散財高は五百七十八圓五錢なりと

◎取消

去る五日の本紙第三面欄東拓參事元朝鮮時事新報社長内山宗次郎氏が詐欺取財に依り釜山裁判所の取調を受し機記載せしは事實相違の旨關係者より申込ありたれば該記事を取消

吉凶錄

本町五丁目 三一館判斷

十二月七日 舊十月廿五日 二黒佛滅辛丑

みつ△一白●● 衰運なり新事見合せの事保證受印負傷避くべし△二黒●●中傷誣妄防ぐべし近親若くは友人の身上につき世話事又は損失あり△三碧●●動物及び車輛牽引者は注意すべし其他職務上過失あり旅行轉住凶△四綠●●取引貸借金品授受證券關章の上に注意を怠る勿れ△五黄●●小利に眩目して大利を逸し小事に拘泥して大事を誤るあり△六白●●些々たる義侠心に驅られて大なる煩累若くは勞苦を受くるなかれ△七赤●●婚姻協合組合等破鏡破綻に終り易し訂結凶とす其外盛運の日とす△八白●●改易轉變に類する事効なし其他支障なし行轉住凶△九紫●●仕官就職相談依頼其効あり旅行轉住凶

各地の新聞

◎醉巡査の妻子殺 福岡縣田川郡添田村中元寺駐在所在勤巡査河内岩吉（三六）と云へるは平素の温和なるに似ず酒を飲めば醉狂して手に終へぬが癖なりしが客月二十九日夜も泥醉して病臥中の妻た富（三二）を洋刀にて娘政子（七つ）を獵銃にて慘殺し同村白土直次郎方に潛伏し居たるを逮捕したりと云ふ

◎手斧にて二人斬 福岡縣浮羽郡竹野村中尾竹上豐次郎（四三）は同地古賀與助（四八）の娘綾尾（三五）の婿養子離縁の仲裁をせし際金七百圓を横領し懲役に處せられ四年間刑の執行猶豫中の者なるが斯る罪を犯すに至りしも畢竟綾尾が居たればなりと去る三十日夜手斧を以て同家に押入り主人與助及妻た歌の二人を慘殺し同村稍正神社拜殿天井裏に潛伏し居たるが警官村民の爲取押へらる

◎村民狂人を殺す 佐賀縣西彼杵郡喜々津村木床名安本小市（四三）は老母と二人暮しなるが數年前より精神病に罹り數々行衞を晦ますことありしが九月一二日頃より又しても行衞不明となりしが例の事と思ひ居りしに取調べの結果同村の若者七八名が同人の狂人なるを疾み喜々津停車場隧道附近の山中に擁して殺害したる者なること判明せり

◎錐にて無理心中 十二月一日午前七時三十分頃長崎縣南高來郡有江村池田キヲ妹當時熊本市外二本木町本通り櫻島樓娼妓松島事池田キク（三四）が熊本縣鹿本郡植木町馬車挽業小佐井末藏（三八）の爲め咽喉部を四ツ目錐にて突刺されたるも殺さるゝに至らず末藏は切出小刀にて自殺を圖り生命覺束なしと原因は兩人物言ふことを得ざるより未だ知るを得ずと云ふ

◎根本的迷信退治 福岡縣警察本部に於ては管下各警察署に命じ稻荷の代人又は弘法大師の御告なりなど稱し妄りに吉凶禍福を說き又は祈禱をなし守札類を授與し或は病者に對して禁厭祈禱符呪等をなし神水神符を與へて治療を妨ぐるもので取調べしめたるに福岡、箱崎、東郷、若松、折尾、八幡、直方、飯塚、大隈、甘木、二日市、前原、西新町、久留米、松崎、吉井、福島、大牟田、柳河、瀬高、若津、城島、小倉、門司、行事等に渉りて三百六十人の多數に上りたる内五名を處罰し二百九十六名に說諭注意を加へたりと云ふ

◎夫婦の無理心中 福岡縣浮羽郡姫治村小鹽鈴木淺太郎（三六）は大分縣日田郡東有田村の佐藤れ文（十九）を妻とし居れるがれ文の美人なるより若しや姦通杯されてはとの懸念より嫉妬し夫婦交情睦しからざるを恨み去る三十日夜實母の留守を幸ひとし無理心中せりと

◎天狗に投殺さる 播州神崎郡瀬加村の内上牛尾村炭燒業前田幸三郎は去る三十日正午頃播磨富士の稱ある山中にて天狗巖とて天狗の居住せると傳へらるゝ大岩石の近傍にて天狗の爲めに投げ殺されたりとは昔話に有そう也

◎狂婦二兒を殺す 去る一日午前七時四十分頃東京芝區松本町二十八土屋た賓（六〇）の孫宏（八つ）た志津（七つ）の兩人が同居人濟水れ佐以（三七）の爲めに慘殺せられたるがれ佐以はた賓の實子幸太郎に媒介せられたる本夫某に離縁せられたるより發狂の氣味なりしが三十日夜復縁を迫りしも聞かれず爲めに一時に逆上し媒酌人幸太郎の子の顏を見て遽かに殺意を生じ菜切庖丁にて右兩人を慘殺したるものなりと云ふ

●慘殺犯人の就縛 東京芝區二本榎町の五人殺し犯人として富岡宗太郎なるもの檢擧せられたり原因未だ判明せず

[illegible]

●滿韓連絡輸送中止

美術襟半 帯上 帯締其他 紐類各種

京城明治町一丁目

かるり徳商店

▲無料紹介欄▼

人事部

●被雇たし 年三十五普通教育あるもの鑛山事業に多大の趣味を有す如何なる危險も不厭 姓名在社(四八三)

●被雇度 年三十三才貨物取扱及税關手續に經驗あり英語を解す商店又は會社に雇はれたし 氏名在社(四八五)

●女中入用 十五歳以上四十歳以下の上品なる女入用給料望み次第保證人を要す(家庭小人數) 龍山老松町三四兒玉

●被雇度 年廿五寫眞術並に測量等に經驗有り 氏名在社(四八七)

●告上原氏 應募申込あれども通知するに由なし往復はがき又は郵劵送付ありたし(係)

●徒弟入用 十三歳より十五六歳迄五六名採用 明治町一丁目 糸山裁縫所

●告ケーヂー生 紙上の匿名は可なるも絶對の匿名にては通信するに由なし故に住所氏名を本欄係宛にて通知あるにあらざれば掲載を見合はす(係)

●望測量製圖助手 氏名在社(四九一)

●求職 昨今渡韓の青年拾九歳事務員又は商家に雇れたし氏名在社(四九〇)

物件部

●貸家 南山町二丁目二階建十疊と三疊と廻椽二階六疊二間廻椽井戸物置湯殿付家賃面談 氏名在社(四七八)

●古新聞 六月後の京城日報、大阪毎日、京城日報七月後の朝鮮新報取揃原價の半額位にて讓受たし 氏名在社

●貸家 北部齋洞廿九ノ四貸家あり宮内府其他韓國側各官衙には便益の地希望に應じ賄差上候

廣告

開業廣告

旭町一丁目歌舞伎座前北側

旅館並高等御下宿 **戎館**

諸具新調し親切叮嚀を旨とし勉强仕候

◎諸官衙御用達 ◎西洋洗濯 ◎あらいはり

迅速丁寧御一報次第參上可仕候

旭町一丁目

鈴木洗工場 電話申込中

消毒 京城本町五丁目

牛乳松尾牧場 電話[illegible]

陸軍諸官衙御用達 建築土工請負業

龍山老松町

磯口商店 電話一一九番

歐米新式 高等裁縫

龍山榮町

田口洋服店 電話三一二番



●正味十六オンスの容量あるは全國輸入の多數ミルク中鷲印を措て他に需むる能はず

韓國一手販賣 **神田組**

德山谷口製煉炭賣出廣告

●嶄新有益なる燃料 本品は長門國大嶺無烟炭を原料とし蒸氣機械を以て壓搾せし谷口煉炭なり、現時德山海軍煉炭所の御用炭として買上の榮を荷へり

●特色 火力は普通石炭に比し耐久力に富み室內暖爐用として第一勝に刺擊を與へず衛生上煤烟少く人畜に及ぼす害なく火付頗る善く建物、裝飾品等汚濆の憂なきと實に文明的燃料として經濟上の面目を持てり一度御試用あれば其効力の如何を知り給はんことを

●化合原料 ヒツチ一 有烟合田炭一 無烟炭八

京城太平町二丁目(電話一一六七)

明治四十二年十二月一日

京城 **日韓印刷株式會社出版部**

右發賣豫報以來未だ旬日に滿たざるも意外の好評を博し日々數百部の御注文に接し感謝の至りに候就ては猶一層奮發致し大目を協約、官制、官規、等級及俸給其他諸給與、任用、裁判所、警察署、監獄署の八項に增加し本月一日の現行法規として隨時御記入の便を謀りたる等設備の完全を期し聊か白を存して此の遺漏なきは勿論索引を附して見出に易からしめ、除外の志に有之就ては更らに本月十日迄御申込の順序に依り配本に着手可致候間微期間に於て御購入の御方に限り前回豫報の通り特別減價を以て御需に應じ可申此際續々御用仰せ付られ度奉願上候敬具

◎全一冊●紙數凡六百頁○菊判半截形◎定價金六十錢

統監府 裁判所 監獄署 警察署 法規提要

石川高等法院判事閣下校閲
今村內部警務局警視閣下校閲
日韓印刷株式會社編輯部編纂

◎印刷鮮明 ◎類集整然 ◎校正嚴密 ◎攜帶便利

浪花節定席 大阪一座 **開業廣告**

兼テ新築中ノ處愈々落成仕ニ付今回大阪浪花節大一座ヲ呼寄セ本月一日ヨリ極メテ安直ニテ精々勉强仕候間何卒御引立ノ程願上候

▲木戸十五錢

京城明治町二丁目

浪花館



原料直輸入廉價調製 各種木形新着

弊店の特色御注文品と否とに不拘材料は精選しスタイルは最新の粋を集め常に諸彦の御滿足を得る樣心掛け居申候地方は御一報次第見本帳御送附可仕候

●龍山は御一報次第店員を派し御試用被下度候

特價
深ゴム靴 六圓五十錢
アミ上靴 五圓五十錢
淺ゴム靴

京城本町一丁目(郵便局前) 東京 **北村支店** 店主 磯部廣吉謹

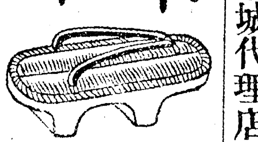
開業祝として一割引

かいきまわた

進物用眞綿・眞綿製防寒具類

京城代理店 京城本町二丁目(長谷川町へ通る) **栗永商店**

東京足袋



本店東京 京城大和町一丁目(日の出橋際) 大和屋 **藤井出張店**

京城聯合大賣出し福引劵差上升

電話二百〇五番

神戸資生分院

京城相生町(南門湯横)

京城梅毒病院

◎花柳病專門附、痔一般(注射療法)

●入院隨意●

院長 醫學得業士 廣田耕平

綿わた綿ワタ

やすくうります

ふとん地色々、ふとん調進、太物類、洋物類

卸問屋

京城明治町一丁目四ツ角

唐川商店

電話二六一番

入院隨意

內科 外科 小兒病 梅毒淋病

京城壽町三丁目

高井醫院 電話(三一六)

院長 陸軍軍醫正 高井貞治

眼科專門

京城本町一丁目憲兵分遣所前

江頭眼科醫院 (電話三三)

前漢城病院眼科部長 醫學得業士 **江頭富雄**

多少ニ不拘萬事御便利ニ御扱申候

旭町二丁目

質 川崎

本町裏通北側 品物ハ大切ニ保管秘密嚴守仕候

電話六七三番

◎牛乳 純良 消毒 檢查濟

韓國畜産株式會社

南大門外(電話八八番)

●電話開通八百三十五番●

唐津石炭 直輸入商

並ニ平壤無煙炭あり

京城太平町一丁目九五 南大門高等女學校裏通り

近藤商店

明治廿年七月創立

東京海上運送火災保險株式會社

資本金一千萬圓

京城代辨店 本町四 山口呉服店 電話九番

事務所 京城本町二の三 電話一〇六〇番

熱誠敏速ニ法律事務ヲ取扱フ(紹介ヲ要セス)

京城旭町二丁目六十七番戶

辯護士 岡田榮 (電話三九八番)

大根大賣出

澤庵漬用大根 漬物用白菜

農商工部園藝模範場御拂下品 自園栽培

並に●鹽●糠●各種子●農具一式

例年の通り品質特撰の上破格廉價を以て販賣仕候間續々御用命之程願上候現品配達は來る廿五日より開始仕候迄て御希望に依り漬込の御囑にも可應申候

京城本町一丁目(長谷川町筋)

三輪商會 電話三八六番

特約販賣 自製

漬物 味噌 醬油 製造元

大上商店

京城本町五丁目

和洋酒、⦿精酎、穀物麵類、銘茶、罐詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糀、塩辛、日本食鹽各種特約販賣尙御望に依り商品切手調進仕候

(電話二五一番)

辯護士 特許辯理士

京城明治町二丁目(佛國教會前)

岩田仙宗 電話三五四番

上等石炭各種

並に無煙炭販賣

京城本町二丁目

林田交換所 (電話六十五番)

會席御料理御一人前 肴四品付酒二本 金六十錢

すき燒其の外應御好

京城竹園町一丁目

遊樂樓 (元三遊樓跡)



●●●滋養と牛乳●●●

純良 **牛乳**

●●●衛生と消毒●●●

馬車配達

京城東四軒町 **岡野牧場** 電話番〇六九番

折箱 製造元

京城明治町一丁目五十番戶 漢城病院下横へ入ル

箱信事 **鳥山商店**

入院隨意

京城壽町三丁目(電話三七八番)

中島醫院

院主 醫學得業士 **中島貞信**



日本郵船株式會社 仁川出帆廣告 電話十番

貨物及船客取扱店

仁川海岸通 電話三九番 **郡回漕店**

●釜山、長崎、門司、神戶行 山東丸 十二月十九日後三時出
●大連、太沽行 高砂丸 十二月廿一日正午時出
●大連、芝罘、秦皇島行 山東丸 十二月七日午前六時出
●大連行 酒田丸 十二月七日正午時出
●釜山出帆 元山、淸津、浦鹽行 立神丸 十二月八日午後時出

御注意 御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ丑十分前ニ解纜ノ事